

# 被爆桜



今年、広島は被爆 76 年目を迎えます。後世へ原爆の恐ろしさと平和の尊さを、さらに強く語り伝えていかなければと思います。特に感染コロナ禍にあって、「地球は一つ」—同じ気持ちになって立ち向かうことの大切さを学んでいます。

新しい時代の分岐点にあって、広島市の被爆樹木に登録された被爆桜を、カメラで記録に残しておこうと、広島市役所本庁舎（爆心地から 1,050 ㍎）を訪れました。被爆桜の種類はヨシノザクラ。庁舎に向かって右側に 1 本、左側に 2 本。今年も淡いピンク・白色の花を咲かせていました。被爆時、旧庁舎の敷地内にあった樹木を、新庁舎建て替えの際、正面玄関横に植え替えられたものだそうです。

被爆 76 年、市役所を訪れる市民を静かに迎えてくれているよう  
です。ハトもいました。スズメも花びらを散り飛ばしていました。平  
和に共に生きる想いを新たにしました。



2021・3・27 広島ユネスコ協会広報部会